

新事業の方向性

1. 自分達が情熱を燃やして、とてつもない願望を持ちつづける価値のあるもの

研究開発の成功は、個人の強い意志と絶え間ない努力の結晶である。

一人ひとりがやる気を持ちつづけるためには、そのことを成功することがどれだけ世の中のためになり、また人の生活を向上させられるかを明確にすることが必要である。

だからこそ、価値あることへの取り組みが不可欠になる。

2. オリジナリティがある

新しい誰もやっていない商品開発・サービスを提供する。

できれば、後世に残るようなスケールの大きい取り組みを行う。

これは、競合がない未知の分野を切り開くことである。

3. すべての責任が自分達で解決できる事業

つまり他人任せになるような事業はしない。

例えば、代理店などのように、取り扱う製品やサービスが、それを提供するメーカーやフランチャイズ本部の意向でしか動けないような事業はしない。

自分たちの決断で、お客様や社会に対して、適切で納得のいく対応ができないことは残念である。自分達ではどうしようもないことで悩むのは精神的にも時間的にもロスである。

4. ビジネスとして成り立つもの

採算が合うだけでなく、利益率が高いこと。

世の中が欲しがっているもの。

5. 世界一の企業になる

事業の展開によって、その分野における世界一の企業になる。人類社会に多大な貢献をする。そして全社員が幸せになる。これぐらいの気概なくして何が出来ようか。

2005年11月9日
有限会社舞システム企画
代表取締役 川野潤一郎